

11 教育のユニバーサルデザイン

教育のユニバーサルデザインとは？

☆「ユニバーサルデザイン」と「バリアフリー」

「ユニバーサルデザイン」と「バリアフリー」は、コンセプトが似通っているため混同されがちです。

ユニバーサルデザインは「障がいの有無や性別や国籍の違い、年齢や能力の差などを問わず、誰にでも利用できること」を目指しています。一方バリアフリーは「高齢者や障がい者が社会生活を営む上で存在する物理的・精神的障壁を取り除くこと」を目指したものです。ユニバーサルデザインのコンセプトは、神奈川県の支援教育に通じる考え方です。

ユニバーサルデザインについて、「障害者の権利に関する条約（第2条）」では「調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲ですべての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計」と規定しています。それを教育に落とし込んだものが「教育のユニバーサルデザイン」の視点です。

学校には様々な教育的ニーズのある生徒がいます。学校に在籍する全ての生徒が、安心して学習に取り組める環境をつくるため、教育のユニバーサルデザインが求められています。

3つの柱をバランスよく

教育のユニバーサルデザイン化は、次の3つの柱を意識してバランスよく進めると効果的です。

授業のユニバーサルデザイン化

より多くの生徒が「わかる」ことを目指した授業づくりをします。

→ 右ページへ

教室環境のユニバーサルデザイン化

生徒が校内で落ち着いて過ごし、学習に集中できる環境を整えます。

→ 1章 - 8

人的環境のユニバーサルデザイン化

学級の雰囲気を和らげ、学び合う環境や関係づくりを行います。

→ 1章 - 4～7

阿部利彦編著 2014『通常学級のユニバーサルデザイン プランZero』東洋館出版社
より（一部改編）

個別支援が必要な生徒への対応を考えよう

「困った生徒」ではなく「困っている生徒」という視点を持とう！

「授業に集中できない」「何度も同じ質問を繰り返す」「他の生徒に関係のないことを話しかけてしまう」…このような生徒は、教員から見れば「困った生徒」かもしれません。しかし、その言動の原因は生徒自身が何かに「困っている」からではないでしょうか。

適切な支援の手立てを考えるために、生徒の言動の背後にある要因や原因を分析して「どのようにしたらできるか」という見方をすることが大切です。生徒を観察し、「〇〇ならできる」「〇〇もできる」を見いだすようにしましょう。

授業のユニバーサルデザイン化のヒント

視覚化

学習内容や考え方・資料等を図解や画像の視覚情報として示します。

- 活動時間を提示する（タイマー）
- 見やすい大きさの文字で書く
- 本日の目標を掲示する
- 黒板を分割して使用し、授業の流れを残す
- 本時の流れの掲示と、現在の活動内容の明示（マグネット等）
- 板書とノート・プリントが同じになるようにし、ノート等に記入しやすくする
- 興味や関心を引き出すための具体物の提示や書画カメラ、タブレット端末の活用
- など

焦点化

学習目標や内容を絞り込み、授業の構造をシンプルにします。

- 簡潔にゆっくり話す
- 一度に複数の活動を指示しない
- 具体的な言葉をつかう（「しっかりと」「きちんと」などは使わない）
- 注意を向けさせる工夫（「今から大切なことを2つ言います」）
- 授業の最初に、学習のねらいや見通しを説明する
- 一単位時間の流れを固定化する（することが限定され、活動しやすくなります）
- など

共有化

学んだ内容等を共有することによって、知識の定着や理解の深化を図ります。

- 生徒の意見をモデル提示する
- 学習成果物を教室後方や廊下等に掲示する
- 理解した内容をペアワークで伝え合わせる
- グループで意見交換し、良い点等を指摘させる
- グループ活動での学びを学級全体で共有させる
- など

→ 3章 「授業の実践にあたって」を参照してください

全体への指導の工夫から個別の支援へ

教育のユニバーサルデザインは、発達障害等を含む教育的ニーズを有する生徒にとって「ないと困る支援」であり、他の生徒にとって「あると便利で役に立つ支援」です。また、授業においては混乱やつまずきを減らし、学習効果をより高めることにつながります。

授業づくりにおいては、こうした指導の工夫を全体に対して行った上で、個々の特性に応じた支援を講じる必要があります。

→ 1章-10



教育のユニバーサルデザインに関する資料

- 阿部利彦編著 2014『通常学級のユニバーサルデザイン プランZero』東洋館出版社
- 小貫 悟・桂 聖著 2014『授業のユニバーサルデザイン入門』東洋館出版社

【総合教育センター】

- 「教育のユニバーサルデザイン～小中一貫教育（小中連携）の視点から～」 平成30年3月
- 「教育のユニバーサルデザインの視点を広げる」（支援教育リーフレットVol.3-I）令和5年3月

→ 「総合教育センター刊行物」のダウンロードは P122へ